

島に住む幸せ・島で働く笑顔・交流する島の活力—生きる幸せが実感できる島—

いへやそん

伊平屋村



市町村コード	473596	類型	I-O
所在地	〒905-0793 伊平屋村字我喜屋251番地		
T E L	(0980)46-2001	F A X	(0980)46-2956
ホームページ	http://www.vill.iheya.okinawa.jp		
指定地域	離島・過疎・辺地・農業振興・産業高度・観光促進		

(組織) (平成31年3月31日現在)

村長	いれいゆきお 伊礼幸雄 任期 H33.9.13 (3期)	副村長	いれいきよし 伊礼清 任期 H31.3.31 (2期)
副村長	-	教育長	ひがしおんなよしかず 東恩納吉一 任期 H33.3.31 (3期)
副村長	-		

(概要)

県下	25位
総面積	H30.10.1 耕地 H30.7.15 宅地 H30.1.1
21.82 km ²	333 ha 397,710 m ²

県下	35位
住基人口	H30.1.1 H27国調人口 H22国調人口
1,258 人	1,238 人 1,385 人
年少人口割合	19.1% (県全体 19.1%) 高齢化率 26.3% (県全体 19.6%)

住基世帯数	H30.1.1 H27国調世帯数 H22国調世帯数
593 世帯	516 世帯 523 世帯

有権者数	H31.3.1 男 女
973 人	538 人 435 人

議長	きんじょうのぶみつ 金城信光	副議長	なかりつお 名嘉律夫
議員	条例定数	現議員数	任期満了日
	8	8	H34.9.27
	常任委員会	党派構成	無所属
総務文教民生、経済建設	8	-	-

沿革

明治41年4月1日	村制施行
昭和14年7月1日	伊是名村が分離
-	-
-	-
-	-

H30.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	63 人	48 人	15 人
人口千人当たり職員数	50.08 人	38.16 人	11.92 人
各4.1現在	平成30年度	平成29年度	平成28年度
職員数(普通会計)	48 人	46 人	46 人
類似団体	-	24 (34)	28 (68)
ラス指数	88.2	87.2	86.2

(基本構想)

基本構想	H24~H33	中长期財政計画	無
基本計画	H24~H33	(-)	(-)
実施計画	H24~H33	(2年計画 1年ローリング)	

(村の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等)

村花	ツツジ(トウサツキ)	村木	クバ
村鳥	-	村魚	イシミーバイ
名所・旧跡	念頭平松、天の岩戸、くば山、無蔵水、屋蔵墓、野甫大橋、神アシャギ		
祭り、行事	豊年祭、いへやまつり、田名のウンジャミ、我喜屋大綱引き、伊平屋ムーンライトマラソン、伊平屋ウイレットレイル		
名産・特産	黒糖、米(ちゅらひかり)、モズク、アーサ、照島(泡盛)、ヤイトハタ、たまねぎ、黒糖アガラサーミックス		
姉妹都市	-		
その他	鳥取県境港市(児童交流)		

(平成31年度主要事業)

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	新伊平屋村製糖工場建設事業	継続	-
補助	伊平屋地区漁港整備事業	継続	-
補助	農地保全整備事業(田名東部地区)	継続	-
-	-	-	-

(広域市町村圏・広域計画)

(基地面積) (H30.3末)

北部広域行政圏計画	米国軍	基地面積	0.0 ha
地域経済活性化計画	自衛隊	市町村面積に占める割合	-
北部地方拠点地域基本計画		基地面積	0.0 ha
-		市町村面積に占める割合	-
		合計	- ha
		県面積に占める割合	-

(今後の主要プロジェクト)

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	新伊平屋村製糖工場建設事業	H29~H31	-
補助	伊平屋地区漁港整備事業	H26~H31	-
-	-	-	-
-	-	-	-

〈教育〉 (平成30年5月1日現在)

区 分	施設数	児童生徒数
村立幼稚園	1園	9人
村立小学校	2校	92人
中学校	2校	53人
村立	2校	53人
村立以外	0校	0人

〈医療〉 (平成29年度)

区 分	施設数	病床数
病院	0箇所	0床
村立	0箇所	0床
村立以外	0箇所	0床
診療所	2箇所	0床
村立	1箇所	0床
村立以外	1箇所	0床
住民千人当たり病床数		0.0床

〈産業〉 ①産業別就業者数 (H27国調)

区 分	就業者数	構成比
第1次	111人	18.0%
第2次	136人	22.1%
第3次	369人	59.9%
合計	616人	100.0%

②村内総生産 (H27年度実数)(百万円)

分 類	純生産	構成比
農林	126	3.4%
水産	115	3.1%
鉱・製造	153	4.1%
建設	892	23.8%
電気ガス水道廃棄物	78	2.1%
運輸・郵便・通信	197	5.3%
卸売・小売	139	3.7%
金融保険不動産	307	8.2%
宿泊・飲食サービス	131	3.5%
専門・科学技術支援	134	3.6%
公務・教育	1,122	29.9%
保健衛生社会	167	4.5%
その他サービス	191	5.1%
合 計	3,752	100.0%

〈福祉〉

区 分	施設数	収容定数
保育所(H30.4.1)	1箇所	60人
村立	1箇所	60人
村立以外	0箇所	0人
生活保護率(H29年度平均) 人口千人当たり		15.69人

〈財政〉

① 決算収支 (百万円)

区 分	H27年度	H28年度	H29年度
歳入総額	3,211	3,541	3,571
歳出総額	3,062	3,305	3,349
形式収支	149	235	222
実質収支	137	177	211
比率	11.9%	16.1%	18.5%
積立金	55	68	98
積立金取崩額	60	160	130
実質単年度収支	22	△ 52	2

② 主要指標 (百万円)

区 分	H27年度	H28年度	H29年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財力力指数	0.09	0.09	0.09	40	0.37	0.53	0.31
標準財政規模 a	1,147	1,101	1,144	35	8,354	22,703	3,092
経常収支比率	90.5	85.2	85.0	17	87.2	88.0	85.1
人件費	39.2	33.7	34.2	35	23.1	22.3	25.4
扶助費	2.4	1.7	1.8	7	15.4	18.3	8.1
公債費	18.5	17.8	17.3	30	14.4	14.7	13.5
物件費	12.9	17.2	18.4	32	14.5	14.0	15.7
その他	17.5	14.8	13.3	11	19.8	18.7	22.4
実質赤字比率	-	-	-		-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-		-	-	-
実質公債費比率	11.7	9.2	6.8	19	8.0	8.6	6.4
将来負担比率	70.6	139.4	155.2		27.1	43.8	-
税徴収率	86.5	86.0	86.2	37	96.6	96.8	95.9
現年課税分	98.0	97.5	97.0	36	98.7	98.8	98.6
滞納繰越分	10.7	5.4	15.8	38	37.8	39.3	33.6
債務負担行額 b	0	478	4,571				
b/a %	0.0	43.4	399.5				
地方債現在高 c	2,019	2,421	2,534				
c/a %	176.0	219.9	221.5	37			
積立金現在高	393	311	305				
財政調整基金	358	267	234				
減債基金	0	10	20				
その他特目基金	34	34	50				
住民1人当たり税負担(円)	61,192	64,487	67,052	1			
自主財源比率	12.9	15.5	17.0	38			

③ 公営事業会計等における繰入金の状況 (H29年度 百万円)

区 分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金	
国民健康保険事業	28	40	34	
老人保健医療事業	0	0		
介護保険事業(保険)	0	0	-	
後期高齢医療事業	0	5		
区 分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入	
法非適	簡易水道事業	7	34	0
	下水道事業	7	34	0
	港湾事業	4	0	0
	-	0	0	0
法適	交通(船舶)事業	22	11	10
	-	0	0	0
-	0	0	0	

④ 歳入の状況 (H29年度 百万円)

区 分	金額	構成
地方税	84	2.4%
地方譲与税	19	0.5%
地方交付税	1,242	34.8%
普通交付税	980	27.4%
特別交付税	261	7.3%
国庫支出金	418	11.7%
県支出金	920	25.8%
地方債	338	9.5%
その他	550	15.4%
歳入総額	3,571	100.0%

④ 歳出の状況 (H29年度 百万円)

区 分	金額	構成
人件費	509	15.2%
物件費	571	17.0%
扶助費	86	2.6%
補助費等	344	10.3%
公債費	241	7.2%
普通建設事業費	1,291	38.5%
補助事業費	1,241	37.1%
単独事業費	43	1.3%
その他	307	9.2%
歳出総額	3,349	100.0%

〈行政の特色〉

『島に住む幸せ・島で働く笑顔・交流する島の活力』～
 生きる幸せが実感できる島～
 を村の将来像と掲げ、農林漁業の振興、生活環境の整備、
 教育文化の推進、港湾、空港の整備等、自然環境を大切にしながら、
 文化生活を営む健康で豊かな村づくりを推進する。